

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和5年7月12日(2023.7.12)

【公開番号】特開2022-37346(P2022-37346A)

【公開日】令和4年3月9日(2022.3.9)

【年通号数】公開公報(特許)2022-042

【出願番号】特願2020-141440(P2020-141440)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和5年7月4日(2023.7.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

複数の発光手段と、

前記発光手段の制御を行う発光制御手段と、を備え、

前記発光制御手段は、輝度データで構成された輝度データテーブルを用いて前記発光手段を制御し、

前記有利状態に制御されるか否かを報知する報知演出を実行可能であり、

前記報知演出は、前記有利状態に制御されるか否かの当否が報知されるまでの導入パートと、当該当否が報知される当否報知パートと、当該当否報知後であって前記有利状態に制御される旨が決定されているときに実行されるエピローグパートとを含んで構成され、

前記導入パートにおいて、キャラクタが発する第1セリフ音に対して第1セリフ字幕をセリフ字幕表示領域に表示し、キャラクタが発する第2セリフ音に対して第2セリフ字幕を当該セリフ字幕表示領域に表示する特定シーンがあり、

前記第1セリフ字幕が表示されるセリフ字幕表示領域と、前記第2セリフ字幕が表示されるセリフ字幕表示領域とは共通のセリフ字幕表示領域であり、

前記特定シーンにおいて、前記第1セリフ字幕が特定の透過率で表示されている状態で、前記第2セリフ字幕の表示がフェードイン効果を伴い開始され、その後、当該第1セリフ字幕の表示がフェードアウト効果を伴い終了し、当該第2セリフ字幕が前記特定の透過率で表示されている状態となり、

前記第1セリフ字幕が前記特定の透過率で表示されており、前記第2セリフ字幕が表示されていない状態において、前記第1セリフ音が出力され、

前記第1セリフ字幕が前記特定の透過率で表示されている状態で、前記第2セリフ字幕の表示がフェードイン効果を伴い開始されてから当該第1セリフ字幕の表示がフェードアウト効果を伴い終了するまでの期間において、前記第1セリフ音および前記第2セリフ音は出力されず、

前記第1セリフ字幕の表示が終了し、前記第2セリフ字幕が前記特定の透過率で表示されている状態となった以降に前記第2セリフ音が出力され、

前記発光制御手段は、

エラーが発生したときに、エラー用輝度データテーブルを用いることで、前記発光手

40

30

50

段を制御し、

通常状態において、通常状態背景用輝度データテーブルを用いることで、前記発光手段を制御し、

導入パートに対応するデータテーブルよりもエラー用輝度データテーブルを優先するように前記発光手段を制御し、

通常状態背景用輝度データテーブルよりも導入パートに対応する輝度データテーブルを優先するように前記発光手段を制御する、遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

(1) 遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

複数の発光手段と、

前記発光手段の制御を行う発光制御手段と、を備え、

前記発光制御手段は、輝度データで構成された輝度データテーブルを用いて前記発光手段を制御し、

前記有利状態に制御されるか否かを報知する報知演出を実行可能であり、

前記報知演出は、前記有利状態に制御されるか否かの当否が報知されるまでの導入パートと、当該当否が報知される当否報知パートと、当該当否報知後であって前記有利状態に制御される旨が決定されているときに実行されるエピローグパートとを含んで構成され、

前記導入パートにおいて、キャラクタが発する第1セリフ音に対して第1セリフ字幕をセリフ字幕表示領域に表示し、キャラクタが発する第2セリフ音に対して第2セリフ字幕を当該セリフ字幕表示領域に表示する特定シーンがあり、

前記第1セリフ字幕が表示されるセリフ字幕表示領域と、前記第2セリフ字幕が表示されるセリフ字幕表示領域とは共通のセリフ字幕表示領域であり、

前記特定シーンにおいて、前記第1セリフ字幕が特定の透過率で表示されている状態で、前記第2セリフ字幕の表示がフェードイン効果を伴い開始され、その後、当該第1セリフ字幕の表示がフェードアウト効果を伴い終了し、当該第2セリフ字幕が前記特定の透過率で表示されている状態となり、

前記第1セリフ字幕が前記特定の透過率で表示されており、前記第2セリフ字幕が表示されていない状態において、前記第1セリフ音が出力され、

前記第1セリフ字幕が前記特定の透過率で表示されている状態で、前記第2セリフ字幕の表示がフェードイン効果を伴い開始されてから当該第1セリフ字幕の表示がフェードアウト効果を伴い終了するまでの期間において、前記第1セリフ音および前記第2セリフ音は出力されず、

前記第1セリフ字幕の表示が終了し、前記第2セリフ字幕が前記特定の透過率で表示されている状態となった以降に前記第2セリフ音が出力され、

前記発光制御手段は、

エラーが発生したときに、エラー用輝度データテーブルを用いることで、前記発光手段を制御し、

通常状態において、通常状態背景用輝度データテーブルを用いることで、前記発光手段を制御し、

導入パートに対応するデータテーブルよりもエラー用輝度データテーブルを優先するように前記発光手段を制御し、

通常状態背景用輝度データテーブルよりも導入パートに対応する輝度データテーブルを優先するように前記発光手段を制御する、

ことを特徴としている。

20

30

40

50